

事務事業評価シート 平成 29 年度事後評価・決算

平成 31 年 2 月 21 日時点

事務事業名		コード	15300	延長保育事業ほか2事業	予算科目	会計	一般	款	3	項	3	目	1	事業種別	☒ 主な事業 ☐ 国土強靱化地域計画 ☐ 新市建設計画 ☐ 定住自立圏構想 ☐ 主要事業
施策体系	基本施策	7		子育て支援の充実	根拠法令	児童福祉法、旭市立保育所時間外保育実施要綱									
	施策の展開	15		結婚・子育て環境の整備	戦略事業	73	時間外(延長)保育事業								
	施策の展開				戦略事業										

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 18 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	保護者の就労形態の多様化に伴い、児童の保育時間を延長することで、安心して子育てができる環境を整備し、児童の福祉の向上を図る。 【保育標準時間認定の場合】 ・公立保育所(中央第一保育所)、公設民営(干潟保育所)は、午後6時15分から午後7時15分までの時間で保育を実施。 【保育短時間認定の場合】 ・公立保育所(その他)は、短時間保育利用の方が8時間を超えて保育を希望する場合に午後4時00分から午後6時15分までの時間で保育を実施。 私立保育園等については、延長保育の実施に対し補助金の交付を行う。	就労形態が多様化し、通常時間外の保育の需要が増えてきたため。	就労形態の多様化、核家族化により、延長保育の利用は、公立保育所では微増している。私立保育園は平成21年度が11,906人であり、年度により増減がある。 平成27年度から子ども子育て新法により短時間利用の方に対する時間外保育も実施することとなった。	平成23年に市内全保育所で実施したアンケートによると、午後7時までの延長保育を適当と思う方が 84.3%、午後7時を超えての延長保育を適当と思う方が 12.1%であった。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(29年度の決算)		単位:千円	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(予算)
1. 共済費	260	臨時職員社会保険料	0	45	108	260	292
2. 資金・報償金	1,427	臨時職員賃金	1,365	1,359	1,397	1,427	1,669
3. 負担金及び交付金	6,120	旭市地域子ども・子育て支援事業費補助金	27881	5219	5460	6120	6,402
4. 委託料	500	指定管理料(干潟保育所)	500	500	500	500	500
② 特定財源の内訳(29年度の決算)		単位:千円	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(予算)
1. 国庫支出金	2,055	子ども・子育て支援交付金	29,746	7,123	7,465	8,307	8,863
2. 都道府県支出金	2,040	千葉県子ども・子育て支援補助金	18,587	1,739	1,819	2,055	2,134
3. 地方債	0		220	168	130	150	156
4. その他	150	延長保育利用収入	10,939	3,477	3,402	4,062	4,439

前年度増減理由	民間保育所の一部で事業規模が拡大され、それに伴って補助金が増となったため
---------	--------------------------------------

従事職員数 常時 19 人 最大 人 × 日 = 延べ 0 人

(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

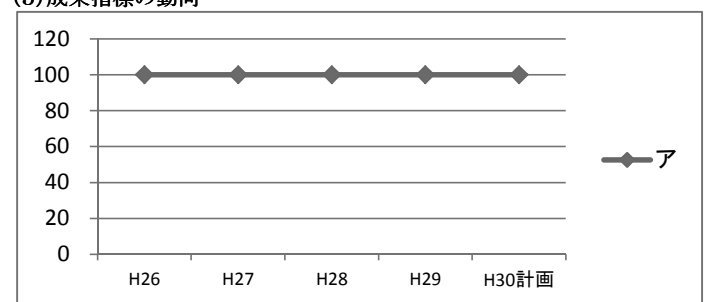
手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	29年度実績(29年度に行った主な活動) 公立保育所…利用申請受付、児童保育、料金徴収 公設民営保育所…指定管理料支払 私立教育・保育施設…補助金交付	公立保育所の延長保育の延べ利用児童数	人	2,710	2,196	1,910	2,183	2,000
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標名	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	対象 延長保育を実施している公立保育所及び私立保育園の児童の保護者 意図 安心して働くことができる。 対象 児童 意図 保護者による保育ができない時に保育を受けることができる。	希望者が必要な時に延長保育を利用できた割合	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		成果向上余地		
施策貢献度	大きい			
	普通		⑤	
	小さい			

② コスト削減優先度評価結果		コスト比率		
評価結果	①			
	②			
	③			
④⑤	⑥	(4)		
	⑦⑧			
	⑨			

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	☐ 完了 ☒ 順調 ☐ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難				
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)					
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	数値増＝成果向上	☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下 ☐ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下	比較 25年度 26年度 27年度 28年度 29年度 26年度 27年度 28年度 29年度 30計画 成果動向 ア 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 イ
	【コメント】 (低下の場合、その理由)					
③ 今年度取組事項 (30年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容			今後の方向性	☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 見直し ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ その他()
		引き続き、事業を実施していく。				